

## 歴代首長

八女市			
中島 一之	初代	S29.4~	S30.4
服部 寅雄	2代	S30.5~	S34.4
主計 貞二	3代	S34.5~	S38.4
	6代	S48.1~	S52.1
末金 僭一	4代	S38.5~	S39.12
牛島 節二	5代	S40.1~	S48.1
斉藤 清美	7代	S52.1~	H5.1
野田 国義	8代	H5.1~	H20.9
三田村 統之	9代	H20.11~	

  

黒木町			
内藤 勸藏	初代	S29.4~	S41.4
大橋 留三郎	2代	S41.4~	S44.2
川島 稔	3代	S44.2~	H元.2
横溝 彌太郎	4代	H元.2~	H17.2
小川 光吉	5代	H17.2~	H22.1

  

立花町			
中村 次平	初代	S30.5~	S34.4
平島 大勝	2代	S34.5~	S38.4
中尾 順藏	3代	S38.5~	S50.4
田中 近作	4代	S50.5~	S54.4
甲木 安英	5代	S54.5~	S58.4
堤 菅雄	6代	S58.5~	H6.3
鷗木 久義	7代	H6.4~	H14.4
田中 礼助	8代	H14.4~	H22.1

上陽町			
小川 秀木	初代	S33.4~	S37.4
	3代	S41.4~	S57.4
井上 常雄	2代	S37.4~	S41.4
川口 義則	4代	S57.4~	H6.4
牛嶋 剛	5代	H6.4~	H18.9

  

矢部村			
坂本 虎之助	初代	M22~	M37
宮内 萬吉	2代	M38.3~	T6.1
坂本 鐵之進	3代	T6.2~	S7.12
田中 穆	4代	S8.6~	S21.10
轟 政次郎	5代	S22.4~	S38.4
江田 勝	6代	S38.5~	S50.4
若杉 文夫	7代	S50.5~	S58.4
若杉 繁喜	8代	S58.5~	H8.5
栗原 照幸	9代	H8.6~	H12.5
原嶋 貞夫	10代	H12.6~	H16.5
中司 謙治	11代	H16.6~	H21.9
田島 富士雄	12代	H21.10~	H22.1

星野村			
高木 良一	初代	M22.5~	M38.9
高木 好太郎	2代	M38.11~	M42.11
今村 和方	3代	M42.11~	T15.2
高木 賢之	4代	T15.5~	S5.5
西田 七郎	5代	S5.6~	S13.6
江頭 一郎	6代	S14.12~	S18.12
高木 良之	7代	S18.12~	S21.12
	9代	S34.5~	S37.7
西田 定夫	8代	S22.4~	S34.4
橋爪 喜三郎	10代	S37.9~	S49.9
谷口 俊一	11代	S49.9~	S56.6
倉住 茂	12代	S56.7~	S62.6
高木 万藏	13代	S62.7~	H7.7
松永 雅男	14代	H7.7~	H15.7
藤崎 正昭	15代	H15.7~	H19.7
高木 良之	16代	H19.7~	H22.1

## 歴代議長

八女市			
末金 僭一	初代	S29.4~	S38.4
近藤 正實	2代	S38.5~	S42.5
三浦 智典	3代	S42.5~	S46.5
斉藤 清美	4代	S46.5~	S52.1
秋山 道太	5代	S52.2~	S54.5
黒岩 省三	6代	S54.5~	S56.6
	8代	S58.5~	S62.4
大坪 重敏	7代	S56.6~	S58.5
	9代	S62.5~	H3.5
上村 正記	10代	H3.5~	H7.5
中園 一	11代	H7.5~	H11.5
樋口 安次	12代	H11.5~	H15.5
平井 寛一	13代	H15.5~	H19.5
武田 忠匡	14代	H19.5~	H20.10
松延 外喜	15代	H20.12~	H23.5
井上 賢治	16代	H23.5~	H25.6
川口 誠二	17代	H25.6~	

  

黒木町			
長野 信一	初代	S29.4~	S30.3
松木 富士雄	2代	S30.4~	S40.6
堤 米一	3代	S40.6~	S42.4
川島 稔	4代	S42.5~	S44.1
松尾 要	5代	S44.2~	S49.9
緒方 武磨	6代	S49.9~	S54.4
似吹 喜蔵	7代	S54.5~	S62.4
横溝 正	8代	S62.5~	H元.2
内藤 義彦	9代	H元.2~	H3.4
鍋島 勝	10代	H3.5~	H7.4
八田 健作	11代	H7.5~	H11.4
松野 萬吉	12代	H11.5~	H15.4
堀下 清隆	13代	H15.5~	H16.6
草場 雄二郎	14代	H16.6~	H19.4
松木 道	15代	H19.5~	H22.1

立花町			
井上 喜次	初代	S30.4~	S30.9
平島 大勝	2代	S30.10~	S34.4
牛島 廣次	3代	S34.5~	S38.9
田中 近作	4代	S38.10~	S42.9
川崎 徳康	5代	S42.10~	S46.9
小倉 賢	6代	S46.10~	S54.4
堤 菅雄	7代	S54.5~	S58.4
大塚 高行	8代	S58.5~	S58.9
松尾 千好	9代	S58.10~	S62.9
入江 貞夫	10代	S62.10~	H3.9
鷗木 久義	11代	H3.10~	H6.4
原 和男	12代	H6.5~	H9.6
山口 茂春	13代	H9.7~	H11.9
田中 礼助	14代	H11.10~	H14.3
小倉 常喜	15代	H14.5~	H19.9
朽網 英文	16代	H19.10~	H22.1

  

上陽町			
久木原 宇蔵	初代	S33.5~	S37.4
久木原 政成	2代	S37.5~	S39.5
川口 武雄	3代	S39.5~	S41.4
角田 茂	4代	S41.5~	S43.2
小川 亀吉	5代	S43.3~	S45.4
井上 嘉晴	6代	S45.4~	S49.4
	9代	S57.5~	S59.6
井上 繁行	7代	S49.5~	S55.12
久間 茂信	8代	S55.12~	S57.4
	11代	S61.5~	H2.4
荒川 隆二	10代	S59.6~	S61.4
上野 重人	12代	H2.5~	H10.4
西村 重利	13代	H10.4~	H13.5
川口 正博	14代	H13.5~	H14.4
小川 健之	15代	H14.5~	H18.4
久間 一正	16代	H18.5~	H18.9

矢部村			
小川 初次	初代	S22.5~	S26.4
松尾 虎吉	2代	S26.5~	S30.4
原島 千代吉	3代	S30.5~	S34.4
	6代	S42.5~	S50.4
川島 真純	4代	S34.5~	S38.4
宮原 茂樹	5代	S38.5~	S42.4
小川 正	7代	S50.5~	S54.4
高山 三郎	8代	S54.5~	S58.4
中司 政行	9代	S58.5~	H3.4
吉開 正行	10代	H3.5~	H11.4
仁田原 石義	11代	H11.5~	H19.4
栗原 吉平	12代	H19.5~	H22.1

星野村			
田辺 伍市	初代	S22.4~	S26.4
橋爪 喜三郎	2代	S26.4~	S37.8
石橋 角藏	3代	S37.9~	S42.4
谷口 俊一	4代	S42.5~	S49.8
倉住 茂	5代	S49.9~	S54.4
高木 等	6代	S54.5~	S58.4
川崎 末弘	7代	S58.5~	H3.4
松永 雅男	8代	H3.5~	H7.4
高木 眞一郎	9代	H7.5~	H11.8
内藤 惇	10代	H11.8~	H15.6
高木 良之	11代	H15.6~	H19.6
高木 俊之	12代	H19.6~	H22.1



ごあいさつ

昭和29年4月1日、福島町、川崎村、忠見村、岡山村の合併により、私たちのまち八女市が誕生し、本年、市制施行60周年の記念の年を迎えました。平成18年には上陽町と合併し、平成22年の黒木町、立花町、矢部村、星野村との合併からは5周年を迎える年でもあります。

本市は先達の英知とたゆみのない努力により矢部川の清き流れとともに豊かな農産物の生産地となり、あわせて歴史と伝統と文化にあふれた地域として発展してまいりました。

この記念すべき年度に、先達の労への感謝とともに、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、市民の皆さんが手を携えて八女市の未来へ歩みを進める契機となる事業や八女市を訪ねられる皆さんに楽しんでいただく事業を数多く開催してまいります。

特に、これまでの歴史や文化を振り返り、文化や伝統・芸術の豊かさを改めて感じるまちづくりを進め、様々な緑や結びつきを契機とした都市間交流を進めることにより八女の魅力と活力を高めていきたいと考えております。

平成24年7月の九州北部豪雨災害発生から1年8カ月が経過し、この間、復旧・復興を市政の最優先課題に位置づけ、「オール八女体制」で各種施策に取り組んでまいりました。皆さんのふるさと八女への思いが原動力となり、着実に復興への歩みを進めております。ご支援ご協力いただいた多くの方々にお礼申し上げます。

今回、この記念誌表紙には桜の花びらを和紙で表現させていただきました。桜は市の多くの場所で市内外の方を喜ばせています。この桜も先達が植え、大切に育てられ、そして現在私たちがそれを見て楽しんでます。このすばらしい桜も後世に大切に引き継いでいかなければならないものひとつです。

この市制施行60周年・合併5周年を契機として第4次総合計画の将来都市像である「ふるさとの恵みを生かし安心して心ゆたかに暮らせる交流都市八女」実現に向け今後も市民のみなさんと協働によるまちづくりを推進してまいりますので、今後ともより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

八女市長 三田村 統之



祝 市制60周年・  
合併5周年

昭和29年に八女市が誕生して60周年、また、平成22年2月の合併から5周年を迎えることができました。誠にありがとうございます。八女の地で発展に尽くされた先人たちのご努力のたまものであるとあらためて思うところでございます。

昭和の時代にも豪雨災害に見舞われ、平成になってすぐには台風被害を受けました。平成23年3月には東日本大震災と津波被害による福島原発事故、24年7月には九州北部豪雨で筑後地区一帯、ふるさと八女の地も大きな被害を受けました。

仮に、合併をしていない時期に九州北部豪雨被害に遭っていたら、それぞれの市町村がどのような対応をとれたのだろうかと思えます。幸い、合併を済ませていたからこそ旧市町村のエリアを超え一つになった八女市民の力を発揮することができたのだと思えます。地元消防団のご活躍、広域からの消防関係機関の応援、全国各地から多くのボランティアの皆さんにも来ていただきました。国・県のご支援なども含め、あらゆる方々からのお力をいただいたことに、八女市議会を代表して深く感謝を申しあげる次第です。

災害への対応に限らず、少子高齢化への対応、中山間地域や商店街の活性化、地方公共交通の将来の方向性などまだまだ多くの課題を抱えています。地方分権が進められ、自治体の自己決定と自己責任が拡大していることから、これらの課題を執行部とともに市議会も団結してクリアしていかなければなりません。開かれた議会、市民とともに歩む議会、市民に信頼され存在感のある議会をめざすことを理念に掲げた「八女市議会基本条例」を基本に置き、議会機能の一層の充実強化に取り組んでまいることをお約束します。

矢部、星野、黒木、立花、上陽、八女を見渡してみますと、清流が流れ、緑に囲まれ、田畑が広がり収穫できないものがないと言ふほどの恵まれた地域です。伝統文化も数限りないほど伝え続けられております。この八女市を次の世代に伝えていくのが私たちの大事な仕事であると思えます。

市制施行60周年と合併5周年に臨み、八女市が大きく飛躍し発展し続きますよう心よりお祈りし、お祝いのごあいさついたします。

八女市議会議長 川口 誠二